

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 30-024

PDCA	事務事業名	中学校空調機設置事業	部課等名	教育部 学校教育課 総務担当	担当	田中(文)	
					内線等	517	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節 第1節 学校教育の充実 基本施策： 1. 義務教育 単位施策： (5) 安全・安心な学校づくりの推進 個別施策： ①校舎、体育館等の改修改築					
	根拠法令等						
	対象・目的	中学校の普通教室に空調設備を設置することで、暑さ対策を強化し、生徒の安全を確保するとともに教育環境の向上を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	生徒達の安全確保を最優先とし、平成31年度の夏から機器使用を開始できるよう、中学校との十分な調整を図り工事を行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	: 単位	
		空調機を設置工事をする部屋数の実施設計			113	室	
		空調機を設置工事			113	室	
		事業費			314,604	千円	
		人件費			1,562	千円	
		総事業費			316,166	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	: 単位	
					千円		
					千円		
					千円		
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	: 単位	
		①事業進捗率（実施設計委託）	実績値			100	%
			目標値			100	
②事業進捗率（空調機設置工事）		実績値			50.0	%	
		目標値			50.0		
③事業進捗率（工事監理委託）		実績値			50.0	%	
	目標値			50.0			
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない				
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ある	⑧受益者負担適正化余地 ない			
A 課題解決のための目標	事業の評価・課題	A 中学校普通教室への空調設備設置の実施設計を速やかに行い、工事へ移行することができた。					
	今後の事業の方向性	現状維持 令和元年度の夏までに普通教室で空調機が使用できるように工事の進捗を図る。					
		平成31年度の目標	成果指標	31年度		: 単位	
①事業進捗率（空調機設置工事）			目標値	100	%		
②	目標値						
	③	目標値					